

アグロ・イノベーション2011



アズマ・コーポレーションは、卵の自販機としても使える「あっちゃん」シリーズを展示した



鶏糞の再資源化に役立つ「フミン酸」や「フルボ酸」を紹介したピイアイシー・バイオ



白環エンジニアリングは弱酸性次亜塩素酸水「CEL A」の生成装置を売り込んだ

農畜産業の生産現場で役立ち設備、サービスが一堂に会する展示会「アグロ・イノベーション2011」(主催・世日本能率協会)が去る11月30日から12月2日まで、千葉市美浜区の幕張メッセで開かれた。

本紙関連では㈱アズマ・コーポレーション(静岡)が、卵の自販販売機としても利用できる「東屋式多目的自動販売機 あっちゃん」を出展。透明の窓から中の商品が見えるため、購入者に安心感を与えられ、補充のタイミングも一目で分かる。内部照明付きで、夜でも商品が見やす

い点もポイントだ。同社によると、卵や野菜などの生鮮品を自販機で扱う場合、ジュースやたばこと違って、小売店のように商品が見えなければ売りにくいのだろうか。

あっちゃんシリーズの新商品「ロッカータイプ」も展示した。窓は従来と同様に透明だが、一般的なロッカーのように電源が不要で、設置場所を選ばない。内部照明は付いていないが、別売りの「LEDロープライト」を使えば夜間の販売力もアップする。

田辺誠社長は「今の消費者は出どころの明確な食品を求めており、直売所の需要は高まっている。わが社では生産者の直売をサポートできるよう、あっちゃんシリーズ、LEDロープライトのほか、自販機用の日よけ・雨よけテント、ノボリなどオプションも幅広く取り揃えているので、ぜひ活用してほしい」と話していた。

所への需要は高まっている。わが社では生産者の直売をサポートできるよう、あっちゃんシリーズ、LEDロープライトのほか、自販機用の日よけ・雨よけテント、ノボリなどオプションも幅広く取り揃えているので、ぜひ活用してほしい」と話していた。

㈱ピイアイシー・バイオ(東京)は、水河の下で、奥村常務(営業部の穂満孝基氏が、①悪臭成分を吸着分解する②好気性菌を活性化し、高い発酵温度になる③酸素を供給し、嫌気発酵を防止する)といった効果が、ユーザーから報告されると伝えている。

HNCと、フルボ酸の「カナディアンフルボ」をPRした。奥村浩一郎常務による「カナディアンフルボ」に設立する養鶏業者が増えているという。同商品を水に溶かし、堆肥含の鶏糞に散布することで、臭いの少ない高価値の発酵鶏糞になるとのこと

もカナディアンフルボHNCを利用して、消臭力の高さは目を見張るものがある。以前に使っていた他社の堆肥化促進剤と比べて、ランニングコストも格段に安くなった。などと導入のメリットを話していた。

会場内のプレセンター「自然の循環システム」に学ぶくま知ってほしいフルボ酸のこと」と題して講演。フルボ酸、フミン酸の働きと、農畜産業での活用例を分かりやすく紹介。プロセスを訪れた神奈川県養鶏業者は、「わが社でもカナディアンフルボHNCを利用して、消臭力の高さは目を見張るものがある。以前に使っていた他社の堆肥化促進剤と比べて、ランニングコストも格段に安くなった。などと導入のメリットを話していた。

日環エンジニアリングは弱酸性次亜塩素酸水「CEL A」の生成装置を売り込んだ

営業課の松川隆弘アドバイザーは「次亜塩素酸ナトリウムなどの除菌剤はpH(水素イオン指数)10~12程度の強アルカリ性のものが多く、取り扱いが危険な場合もあった。CEL AのpHは6.5程度で安定しており、安心して除菌・消臭できる。生成装置の「CEL A+」は、飲料用水道水からCEL Aを生成できるため、コストパフォーマンスの面からみて「モスメ」などと話していた。

㈱(宮城)は、弱酸性次亜塩素酸水「CEL A(セラ)」の消臭・除菌効果をアピールし、CEL Aの生成装置「CEL A+」を売り込んだ。CEL Aは、水に次亜塩素酸ナトリウムと希塩酸を希釈した弱酸性水。生成段階で有毒な塩素ガスの発生もなく、排水時に特別な処理も必要ない。畜舎全体に直接噴射すれば各種のウイルス対策に役立ち、GPセンターに役立て、GPセンターよだた。